

## 1 【活動の趣旨】

創立135年の歴史がある本校は、様々な場面で多くの地域の方から支えられてきた。平成28年4月に老上西小学校が新設され分離したが、駅周辺の開発により、今後も児童数が増加する中で、地域の方が本校に寄せる思いは引き続き熱いものがある。本取組により、子どもたちが身近な地域の方の考え方や人柄などにたくさん触れ、ふるさとを愛し、豊かな人間性を身につけてほしいと願い、実践している。

## 2 【特徴的な活動内容】

○みんなでつながり 安心安全！ 老上防災大作戦！

4年生が「みんなでつながり 安心安全！ 老上防災大作戦！」の取組を行っている。本学区は、近年都市開発化が進み、他市や他県からの転入者が増加している。そのため住民同士のつながりが弱い傾向にあり、子どもたちは「自分たちの力で地域の防災意識を高められるようなイベントを開きたい」という願いをもって活動をスタートさせた。地域の避難場所や防災設備の調査のために町を歩き、地域の方や防災に関わる専門家に話を聞くなど体験活動を通して、自分たちの願いの実現に向けて取組を進めた。



【防災設備について】

## 3 【実施に当たっての工夫】

○地域コーディネーターや各学年の担当が、地域の方と学習内容について連絡調整を行い、プログラムを作成している。その際、学校の学習内容やねらいを協力者に伝え、学校と地域の取組がつながるようにしている。また、地域の方を招いて各学年の取組を報告したり、自分たちの思いを伝えるチラシを配布したりするなど、学んだことを地域に発信する取組も行っている。

## 4 【事業の成果】

○子どもたちが地域の方の支援に触れる場面が増え、地域の方やふるさとへの愛着を感じ、豊かな人間性を養うきっかけとなる取組となっている。  
○推進委員は世代を超えて老上小学校の体験活動を支援してくださっていることから、家庭内で地域のことが話題にのぼるなど、家庭教育的な役割も果たしている。

## 5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

○取組を充実させるため、入念な打ち合わせや準備が必要となる。今後も継続して取組を図っていくためにも、学校・地域双方の負担を軽減していくことが必要である。また、地域の方の高齢化も進んでいるため、新規の推進委員・ボランティアの確保も必要である。情報の発信や円滑な情報の共有のためにも地域コーディネーターの果たす役割がより重要である。